

神戸市 教育委員会だより

2025年5月発行

発行
神戸市教育委員会

令和の学び ～「子供が主役の学び」の実現に向けて～

急速な技術革新の進展やグローバル化など予測困難な時代に、未来の作り手となる子供たちの個性を伸ばし、多様な能力を育むために、「子供が主役の学び」を目指して授業の改善に取り組んでいます。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

子供が主役の学びを実現するため、一人ひとりが興味や学習到達度などに合わせて学習を選択する「個別最適な学び」と他者の異なる考え方を知って学びを深める「協働的な学び」を一体的に実施していきます。これまでの集団への画一的な授業ではなく、教員が一人ひとりの学習状況を把握し、適切な目標の設定や振り返りができるようアドバイスなどを行います。

個別最適な学び

自らの興味・関心を生かして探究的に学んだり、得意なことを伸ばす

自分に合った学び方を選択・決定する

自分の学び方を振り返り改善する



協働的な学び

必要な知識を手に入れ、自分の考えを表現する

他の人と考えを共有したり、比べたり、参考にしたりしながら学ぶ



「子供が主役の学び」の実現

＜授業改善のポイント＞

- ・学習用パソコンなどを活用し、他の人の考えに触れる機会を作る
- ・子供一人ひとりの学習状況を把握し、子供が学び方を自分で決定する場面を設定する
- ・子供が見通しをもって学習に取り組めるよう、「目標」を設定し、「振り返りの活動」を実施

●学習用パソコンを活用した取組

「子供が主役の学び」を実現する手段の一つとして、学習用パソコンを活用しています。

＜活用イメージ＞

課題の設定

- ・一人ひとりの学習のめあて等を即座に共有
- ・考えを書き込みながら共有して課題を見出す

情報の収集

- ・様々なメディアから集めた情報を共有
- ・同じ資料に協働で書き込みながら考える

整理・分析

- ・いつでも友達のことを参照して自分に生かす
- ・出し合った意見を協働で同時に編集して整理

まとめ・表現

- ・友達のまとめを参考にしながら自分もまとめる
- ・作品や成果物をいつでも共有して参考にする

振り返り

- ・振り返りを蓄積して自分の取り組みに生かす
- ・学習用パソコンを使った学び方を評価・改善する

※すべてを1回の授業で行うわけではなく、学習内容や学級の実態に応じて行います。



▲自分にあったペースで、友達と共有しながら取り組む。(中1 数学)



▲発表のための資料を共有しながら整理する。(小2 生活)



▲課題解決のために収集した情報を共有してまとめる。(小6 社会)

部活動から「KOBE◆KATSU」へ

本市では、2026年8月末に中学校部活動を終了し、地域の方々とともに活動する「KOBE◆KATSU(コベカツ)」の開始に向けて取り組んでいます。



●「コベカツ」とは

中学生が放課後や休日に校区を越えて、様々なスポーツ・文化芸術活動に参加できる新しい仕組みです。趣味や交流を楽しむレクリエーションクラブから、大会やコンクール出場を目指すクラブまで、子供たちが主体的に多様な活動に参加できる機会の確保を目指しています。

●「コベカツクラブ」を公表しています

コベカツの開始に向けて、1～2月に活動団体を募集し、526団体をコベカツクラブに登録しました。詳細は、ホームページの「コベカツニュース」に掲載しています。

今後も引き続き、登録団体が少ない地域や種目などを中心に、活動団体の確保に取り組んでいきます。6月頃から第二次募集を実施する予定です。

また、指導者やスタッフとしてコベカツクラブの運営に参加を希望する方と、活動団体をマッチングする「コベカツ人材バンク」を設置する予定です。詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。



●スケジュール

2025年9月頃から、既存の部活動に無い種目を中心に、一部のクラブでコベカツを先行実施していきます。

※部活動の終了時期は、種目によって柔軟に対応します。



●よくある質問

Q1. コベカツに移行すると、部活動で培われる人間関係や教員との関わりはどう変わりますか。

コベカツでは、部活動と同じように、仲間と一緒に取り組むことで人間関係を醸成します。部活動よりも幅広い世代との関わりが生まれることも考えられます。また、教員は、授業を中心に一人ひとりの生徒にきめ細かく向き合うことで、生徒との関係性を培っていきます。

Q2. 部活動がなくなれば、大会で活躍する機会が失われてしまいませんか。

コベカツクラブは、兵庫県中学校体育連盟に参加申請し認可されることで、市総体や全国中学校体育大会に出場することができます。大会の継続、取りやめなどは、競技によって異なります。情報がわかり次第、コベカツホームページで発表します。

Q3. 子供が中学1年生で、部活動に所属しています。コベカツへの移行後はどうなりますか。

部活動終了後は、コベカツクラブの中から「やりたいこと」を選んで参加できます。現在の部活動にある主要な種目については、自校や近隣校で活動できるよう、活動団体の確保に取り組んでいきます。

Q4. 校区外のコベカツクラブに参加したい場合は、移動はどのようにすればよいでしょうか。

コベカツは、校区を越えて子供たちが「やりたいこと」を選んで活動できることを目指しています。校区外の活動に参加する場合は、公共交通機関や自転車の利用、必要に応じて保護者の送迎をお願いします。参加する活動を選ぶ際には、移動手段も含めて総合的にご検討ください。

Q5. 月会費の負担はどれくらいになりますか。

団体が定める会費(運営費や実費など)が必要となります。各団体には、学校施設を活用することなどにより、生徒が幅広く参加できるよう比較的低い金額設定をお願いしています。週2～3回の活動で月額3,000～4,000円程度を目安としていますが、団体や活動内容によって異なります。

コミュニティ・スクールの推進に向けて

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校運営にあたって保護者や地域等と連携し、子供たちの学びや成長を支える重要な仕組みです。本市では、各学校において、コミュニティ・スクールの取組を進めています。今回は、須磨区の神の谷小学校の取組をご紹介します。

神の谷小学校

学校運営協議会協働学習(愛称: コミカリ) ～まちに学び、まちに還す～

神の谷小学校では、総合的な学習の時間の中で、地域と学校が協働して行う地域学習「コミカリ」を実施しています。

●取組内容

学校運営協議会委員と全教職員が参加する意見交換会を実施し、地域学習の教育課程(カリキュラム)を作成しています。子供たちがまちに親しみを持ち、主体的に学べるような学習を目指して知恵を出し合っています。



●「コミカリ」学習内容(2024年度)

「神の谷の町のすてきを見つける」「じぶんたちの町に関する自然や成り立ちに気づく」など、学年ごとの目標を立て、達成に向けて地域と学校が協力して活動を行いました。



▲むかしあそびの会



▲ジュニア防災

- むかしあそびの会【1年・2年】
- 春夏秋冬みつけ【1年・2年】
- 校区探検【3年】
- ジュニア防災【4年・5年】
- 地域インタビュー【2年・4年】
- 福祉センター訪問【6年】
- 敬老の手紙袋詰め【6年】
- 神フェス夏(夏祭り)【全学年】
- 地域清掃【全学年】
- ホリデーイン神の谷(地域文化祭)【全学年】

外国人児童生徒への支援

外国からの転入者が年々増加する中で、本市には日本語指導を必要とする児童生徒が約700名います。そのような子供たちが早く学校生活になじめるように、「こども日本語サポートセンター」を設置して、様々な支援を行っています。

●「こども日本語サポートセンター」の取組

- ・「日本語ひろば」(初期日本語指導教室)の実施
日本での学校生活をスムーズにスタートできるよう、日本語教師資格をもった指導員が日本語指導を実施
- ・「オンライン教室」の実施
学習用パソコンを使用した日本語指導の実施
- ・初期日本語学習用デジタルコンテンツの作成、活用支援
- ・日本語指導員による学校訪問
日本語能力のチェック、学校へ日本語指導に対する助言等を実施
- ・通訳・翻訳等を行う母語支援員の派遣、翻訳機器の貸し出し
- ・外国人児童生徒の進路相談会の実施

母語(ランゲージ)支援員募集

日本語指導が必要な外国人児童生徒等に、母語での生活支援や学習支援を行っていただく支援員を募集しています。



応募はこちら

熱中症予防の取組

子供は体温の調節能力が十分に発達していないため、大人以上に熱中症への注意が必要です。学校園では、以下のような熱中症の予防を行っています。

●学校園での生活

- ・風通しのよい服装や屋外での帽子の着用を呼びかけ
- ・運動時はマスクを外すことを徹底
- ・冷房等を適切に使用
- ・水分補給の適時呼びかけや給水タイムの確保
- ・運動場へのテントの設置や水まき

●部活動

- ・活動開始前に活動場所の暑さ指数(WBGT)を必ず計測
- ・活動場所の暑さ指数(WBGT)が31以上の場合は、部活動を中止
- ・グラウンドや体育館の定点測定(1～2時間毎)
- ・水分・塩分補給や健康観察をし、熱中症が懸念される場合は活動を中止する

当日の気象状況など少しでも懸念がある場合は、行事を中止や延期することがあります。ご理解とご協力をお願いします。
ご家庭でも、外出時には水筒を持参し、こまめに水分補給をしましょう。また、帽子や日傘などを使用して熱中症対策をお願いします。



熱中症予防の取組



暑さ指数(WBGT)について



学校生活に関する相談窓口

教育委員会では、学校生活に関する相談窓口を設置しています。学校生活の中での悩みごとがあれば、どんな小さいことでも抱え込まずに早めにご相談ください。以下の窓口のほか、学校に相談しにくいこと、その他教育全般の意見や要望、どこに相談すればいいかわからないことは、「お困りごとポスト」へご相談ください。



相談窓口

相談内容	相談窓口	相談方法
学校・教育についてのお困りごと (いじめ・不適切指導・性被害・学校生活全般)	教育相談室	電話相談 0120-790-783 (フリーダイヤル) 078-360-3152 (直通) 月曜～金曜 [9時～17時]
		面接相談 078-360-3150 [予約制] 火曜～金曜 [10時～12時、13時～17時]
特別支援教育	特別支援教育相談センター	電話相談 078-360-2160 月曜～金曜 [9時～17時]
不登校	不登校支援相談センター	電話相談 078-366-0123 月曜～金曜 [9時～17時]
子供向けの相談窓口	こうべっ子悩み相談	電話相談 0120-155-783 (フリーダイヤル) [24時間受付]
	ひょうごっ子SNS悩み相談	学校で配られるチラシやカードをご確認ください。

～保護者・地域団体の皆様へのお願い～

教員の長時間勤務の解消に向けた取り組みに日々ご協力いただきありがとうございます。
引き続き、「17時以降の学校電話機の音声アナウンス対応への切り替え」、「学校外での生活に起因する問題は内容に応じて警察などの関係機関にご相談いただくこと」などにご理解・ご協力をお願いします。

教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」
またはTEL：984-0608 FAX：984-0617でご連絡ください。

お困りごとポスト

